

3. 豆知識

3.1.開港の道

JR線桜木町駅から自動車・赤レンガ倉庫・山下臨港プロムナード・大棧橋・山下公園・港の見える丘公園に至る、3.2kmほどの道のりです。開港の道を示すマークが10~20m間隔で埋め込んでありますから、道に迷うことはないでしょう。これも魅力的なルートです。



図10 道標 (近影)

横浜美術館周辺は、かつて横浜船渠(せんきょ)に始まる大きな造船所でした。そこで建造された一艘が氷川丸、第4号船台でした。

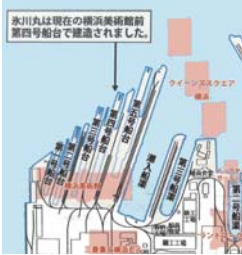


図11 新旧地図 (案内板より)

美術館北側の横断歩道を渡った所に案内があります。各所にも案内が据えられています。街は情報に満ちています。

3.2.氷川丸は横浜美術館で造られた?

横浜美術館脇の「V・クロチェッティ「平和の若い騎手」」は、館内展示から館外展示に変わりました。多くの人の目に留まるのでこれもパブリックアートで

しょうか。

みなとみらいには70~80体のパブリックアートが設置されています。こんな所にも思ったり、夜に表情を変えたり。あなたはいくつパブリックアートに出会えるでしょうか。



図12 平和の若い騎手

4. 参考文献

- (1) 横浜西区史編集委員会編「横浜西区史 区政50周年記念」(1995 横浜西区史刊行委員会)
- (2) 中区制50周年記念事業実行委員会編著「横浜・中区史：人びとが語る激動の歴史」(1985 中区制50周年記念事業実行委員会)
- (3) 横浜都市発展記念館「都市横浜歴史ビジュアル「地図」で探る横浜の鉄道」(2011 横浜都市発展記念館)
- (4) 横浜市都市整備局都市デザイン室・横浜市教育委員会文化財課「都市の記憶 横浜の主要歴史的構築物」(2007 横浜市歴史的資産調査会)

5. 引用

- 図1 「(大横浜名所)港内よりドック会社を望む」 横浜市中央図書館所蔵
- 図2 「横浜新棧橋」 横浜都市発展記念館所蔵
- 図3 「横浜港信号所」 提供：
<http://senrohaisenzu.cocolog-nifty.com/>
- 図4 「横浜税関(絵はがき)」 横浜市中央図書館所蔵
- 図5 「日本大通り」 横浜市中央図書館所蔵
- 図7 「横浜万国橋」 横浜市中央図書館所蔵
- 図8 「横浜弁天橋川岸ヨリ灯台ヲ望ム景」 横浜都市発展記念館所蔵

四次元的路上観察案内書「3. 横浜港を巡る」●企画・編集：ハマトリーツ! (横浜トリエンナーレサポーター) 自主活動グループ「時をかけるヨコハマ」(内藤恵実, 原田貴己, 深野一穂, 宮崎秀一, ゆかりん, レイミホ, 匿名希望22名) ●イラスト制作 (山下景) ●発行日：2017年9月18日 ●発行・問合せ：横浜トリエンナーレサポーター事務局 [横浜市西区みなとみらい3丁目4-1 横浜美術館横浜トリエンナーレ組織委員会事務局内 Tel:045-228-7816 Mail:info@yokotorisup.com] ●ハマトリーツ! 公式 WEB:<http://www.yokotorisup.com/>

変わりゆく横浜の最前線 横浜港を巡る



自動車

キーワードは「同居する過去」。大きな造船会社跡は、横浜みなとみらい21地区として2000(平成12)年頃までに街全体が完成する予定でした。しかし世の中の変化により、いまなお再開発が続きます。横浜港最奥部の海岸線と開港の頃から歴史を刻む古い街並みを巡りながら、過去へ、未来へ思いを馳せてみませんか。周辺は、格好の四次元的路上観察の対象と言えます。

循環ルートは約6.2km、全体に平坦です。横浜美術館から横浜赤レンガ倉庫まで海沿いに歩くと約2.2km、約40分です。案内書はみなとみらいを起点としますが、都合の良い所を起点にして下さい。公共交通との組み合わせも可能です。



四次元的路上観察の自主活動グループ
時をかけるヨコハマ

-4-

-3-

れます。1920(大正9)年、埠頭の貨物年、東横浜駅と新港浜頭は貨物線で結び、かつて貨物専用の東横浜駅が現桜木町駅の海側にありました。1911(明治44)を感して下さい。旧横浜村の地形が交差する本町通り辺りが高く、両端が大さん橋、横浜赤レンガ倉庫を望む芝生広場やテラス又は休憩に最適です。

2.5. 日本大通り
急事業として明治中期の形状が復元されました。復元中に発見された転車台などの遺構も見られます。横浜税関、横浜船ビル、横浜郵便局、横浜郵船第二合同庁舎(旧生糸検査所)などの昭和初期の建造物が、歴史的な雰囲気を漂わせます。

2.8. 汽船道
北端の潮入りの池付近から見る風景は雄大です。弧を描く海岸線に迫る街並みは、横浜開港以来の歴史の集積です。反対側のみなとみらいは、新たに歴史を刻み始めた高層ビル群が聳えます。



図7 横浜万国橋 (1904年竣工)

2.7. 海岸通り
開港当時の最大の緑地、芝生広場から連続する横浜港、そしてみなとみらい地区で最大の見られる

2.10. 臨港パーク
と魅力倍増でしょう。総帆展覧が行われます。その日に訪れる汽船集第一号船場です。時々、満船遊覧船が延び、その後には1898(明治31)年に竣工、その後延長された横

2.9. 日本丸メモリアルパーク
真ではまだ完成していないようです。写す。汽船道は灯台奥に位置しますが、写す。この鉄道跡が整備されたもので

2.6. 本町通り
貿易の発展に際しては、この界隈に金融機関が進入しました。今でも銀行や元銀行の歴史的建造物は多く残りますが、多くが関東大震災後の建造です。しかし旧逓便銀行ビルは、関東大震災にも戦災にも耐えています。横浜開港記念館は大震災で内部などを被災して修復されています。共用部分は見学可能です。

2.3. 赤レンガパーク
開港後の課題は、船舶が着岸できる本格的な波止場の造成でした。1896(明治29)年、政府は横浜港大さん橋の前身の鉄棧橋を完成させます。1899(明治32)年、取り扱い貨物の急増に対応するため新港頭と横浜赤レンガ倉庫の建設を始めます。

2.4. 象の鼻パーク
防波堤の形が象の鼻に似ているため、往時から「象の鼻」と呼ばれます。第2代税関はここに建造されています。開港150周年記念事業として明治中期の形状が復元されました。復元中に発見された転車台などの遺構も見られます。横浜税関、横浜船ビル、横浜郵便局、横浜郵船第二合同庁舎(旧生糸検査所)などの昭和初期の建造物が、歴史的な雰囲気を漂わせます。

2.1. クラフトパーク
この辺りは、何基ものレインフォレスト立する造船所でした。その歴史は、1891(明治24)年の有限責任横浜船渠(せんきょ)会社設立に始まります。その後、三菱重工株式会社横浜船渠、三菱重工工業株式会社横浜造船所と変遷。造船所は1983(昭和58)年に移転、跡地がみなとみらい21地区として再開発されます。

2.2. 新港パーク
新港浜頭は、明治後期から大正初期にかけて造成されました。現在、新港浜頭は、みなとみらいと赤レンガ倉庫を結ぶ海

-1-

-2-

2.1. 概要
みなとみらいに戻ります。道、日本丸メモリアルパークを通して、海沿いに歩くと約2.2km、約40分です。案内書はみなとみらいを起点としますが、都合の良い所を起点にして下さい。公共交通との組み合わせも可能です。

2.2. 新港パーク
新港浜頭は、明治後期から大正初期にかけて造成されました。現在、新港浜頭は、みなとみらいと赤レンガ倉庫を結ぶ海

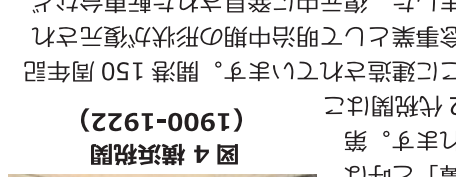


図4 横浜税関 (1900-1922)

2.3. 赤レンガパーク
開港後の課題は、船舶が着岸できる本格的な波止場の造成でした。1896(明治29)年、政府は横浜港大さん橋の前身の鉄棧橋を完成させます。1899(明治32)年、取り扱い貨物の急増に対応するため新港頭と横浜赤レンガ倉庫の建設を始めます。

2.4. 象の鼻パーク
防波堤の形が象の鼻に似ているため、往時から「象の鼻」と呼ばれます。第2代税関はここに建造されています。開港150周年記念事業として明治中期の形状が復元されました。復元中に発見された転車台などの遺構も見られます。横浜税関、横浜船ビル、横浜郵便局、横浜郵船第二合同庁舎(旧生糸検査所)などの昭和初期の建造物が、歴史的な雰囲気を漂わせます。

2.5. 日本大通り
急事業として明治中期の形状が復元されました。復元中に発見された転車台などの遺構も見られます。横浜税関、横浜船ビル、横浜郵便局、横浜郵船第二合同庁舎(旧生糸検査所)などの昭和初期の建造物が、歴史的な雰囲気を漂わせます。

2.6. 本町通り
貿易の発展に際しては、この界隈に金融機関が進入しました。今でも銀行や元銀行の歴史的建造物は多く残りますが、多くが関東大震災後の建造です。しかし旧逓便銀行ビルは、関東大震災にも戦災にも耐えています。横浜開港記念館は大震災で内部などを被災して修復されています。共用部分は見学可能です。

2.7. 海岸通り
開港当時の最大の緑地、芝生広場から連続する横浜港、そしてみなとみらい地区で最大の見られる

2.8. 汽船道
北端の潮入りの池付近から見る風景は雄大です。弧を描く海岸線に迫る街並みは、横浜開港以来の歴史の集積です。反対側のみなとみらいは、新たに歴史を刻み始めた高層ビル群が聳えます。

2.9. 日本丸メモリアルパーク
真ではまだ完成していないようです。写す。汽船道は灯台奥に位置しますが、写す。この鉄道跡が整備されたもので

2.10. 臨港パーク
と魅力倍増でしょう。総帆展覧が行われます。その日に訪れる汽船集第一号船場です。時々、満船遊覧船が延び、その後には1898(明治31)年に竣工、その後延長された横



図9 臨港パーク (近影)

2.1. 概要
みなとみらいに戻ります。道、日本丸メモリアルパークを通して、海沿いに歩くと約2.2km、約40分です。案内書はみなとみらいを起点としますが、都合の良い所を起点にして下さい。公共交通との組み合わせも可能です。

2.2. 新港パーク
新港浜頭は、明治後期から大正初期にかけて造成されました。現在、新港浜頭は、みなとみらいと赤レンガ倉庫を結ぶ海

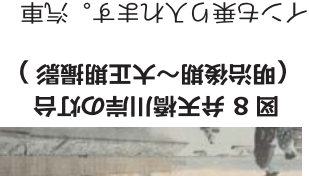


図8 弁天橋川岸の灯台 (明治後期~大正期撮影)

2.3. 赤レンガパーク
開港後の課題は、船舶が着岸できる本格的な波止場の造成でした。1896(明治29)年、政府は横浜港大さん橋の前身の鉄棧橋を完成させます。1899(明治32)年、取り扱い貨物の急増に対応するため新港頭と横浜赤レンガ倉庫の建設を始めます。

6. ルート案内

●歩きはじめる前に

- ・横浜美術館・横浜赤レンガ倉庫 1号館・象の鼻テラス・横浜市開港記念会館・Bank ART Studio NYKを巡る循環ルートです
- ・起点：JR線桜木町駅、みなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅・日本大通り駅からルートを巡れます
- ・距離：約 6.2km、歩行時間約 2時間、ただし観察時間は含みません
横浜美術館～横浜赤レンガ倉庫、横浜美術館～Bank ART Studio NYKが約 2km強。他の拠点間は 600～700mです
- ・観察点番号の前の記号は、次を意味します
★案内あり、●パブリックアート、■歴史・史跡
- ・点線で表記されたルートは任意です
- ・観察点の太字表記は必須、細字表記は任意です
- ・次の次の観察点まで確認して進んで下さい

A. グランモール公園

- 1.横浜美術館
- 2.新宮晋「風の音符」
- 3.V・クロチェッティ「平和の若い騎士」
- 4.最上壽之「モクモク ワクワク ヨコハマ ヨーヨー」
- 5.リカ・ムータル「Eye on the City」
- 6.リカ・ムータル「Eye on the Sea」

B. 海沿いルート

- 7.コスモワールド
- 8.国際橋(大岡川最下流)
- 9.吉野毅「女神像(みちびきの像)」(遠望)
インターコンチネンタルホテル海側の最上部
- 10.カップヌードルミュージアム
- 11.新港埠頭
- 12.香淳皇后歌碑
- 13.新港サークルウォーク

C. 赤レンガパーク

- 14.横浜港駅跡
- 15.海上保安資料館横浜館(工作船資料館)
- 16.横浜港大棧橋展望
- 17.横浜赤レンガ倉庫 2号館
- 18.横浜赤レンガ倉庫 1号館
- 19.カモメハーブ
- 20.横浜三塔ビュースポット
- 21.新港橋梁(1912(大正元)年)
制作は浦賀船渠、ワーレントラス橋

D. 象の鼻パーク

- 22.開港の丘・タイムカプセル
- 23.象の鼻テラス(次の 24、25内部にある)
- 24.椿昇「時をかける象」
- 25.谷川俊太郎「(象の鼻)での 24の質問」
- 26.開港波止場
- 27.象の鼻防波堤
先端に横浜 3塔ビュースポット

E. 日本大通りルート

- 28.古いビル群
昭和ビル、海洋会館、横浜貿易会館、ジャパンエクスプレス、古い港町の趣が感じられます
- 29.開港広場
日米親条約締結の地碑、煉瓦造下水道跡などもあります
- 30.横浜開港資料館
中庭に玉楠の木、ブラフ溝、獅子頭水栓があります
- 31.横浜開港資料館旧館(1931(昭和 6)年)
旧横浜英国総領事館、内部を通りすぎます
- 32.日本大通り
横浜公園までを見通すと、本町通り辺りが高く、そこから先は下がっています。旧横浜村の地形が感じられます
- 33.神奈川県庁(1928(昭和 3)年)
屋上に塔屋を頂く 帝冠様式の先駆け。歴史展示室(6階)、屋上展望台は曜日・時間の制限はありますが見学できます
本町通り側角に神奈川運上所跡碑があります
- 34.横浜港郵便局前外国郵便の始まりポスト
- 35.横浜情報文化センター(1929(昭和 4)年)
旧横浜商工奨励館。旧館部分の重厚な造りの階段と貴賓室、中庭の古い土木遺構などは見学可能です
- 36.三井物産横浜ビル(KN日本大通りビル)
(1911(明治 44)/1927(昭和 7)年)
1号ビルは日本最初の鉄筋コンクリートビル
- 37.横浜地方・簡易裁判所(1930(昭和 5)年)
- 38.電信創業の地碑



F. 本町通りルート

- 39.横浜市開港記念会館(1917(大正 6)年)
横浜開港 50周年を記念して建設された。玄関脇に、岡倉天心生誕之地碑、横浜商工会議所発祥之地碑、横浜町会所跡碑があります
- 40.開通合名壁面

G. 海岸通りルート

- 41.横浜税関
- 42.作者不詳「モニュメント」
- 43.作者不詳「警察官と少女女像」
- 44.Bank ART Studio NYK
- 45.日本郵船歴史博物館
- 46.横浜第 2 合同庁舎(1926(昭和元)年)
旧生糸検査所、関東大震災復興期の建物。正面玄関部分の最上階の紋章は、蚕の成虫と菊の紋と桑の葉のデザインです
- 47.万国橋
みなとみらいのビュースポット



H. 自動車道ルート

- 現在はプロムナード「自動車道」の一部です。かつては桜木町と新港埠頭を結んだ旧臨港線護岸(二つの人工島)でした
- 48.額入りの景観(ナビオス横浜を通して)
 - 49.港三号橋梁(1906(明治 39)年)
制作は不明、当初は夕張川橋梁、1928(昭和 3)年に大岡川橋梁として移設された 100 フィート(30.5m)のワーレントラス橋
 - 50.新港二号橋梁(1907(明治 40)年)
 - 51.新港一号橋梁(1907(明治 40)年)
共に製造はアメリカンブリッジ社、100 フィート(30.5m)の鋼トラス橋

I. 日本丸メモリアルパーク

- 52.トップゲルンマスト
- 53.日本丸
- 54.横浜港博物館
- 55.峯田義郎「海鳥達の風」
- 56.新宮晋「白い花」
- 57.パブリックアート・記念碑群
垣内治雄「青少年の像」、天女散華、錨、フランシス・ホーン「トーテムポール」
- 58.ドックヤードガーデン(旧横浜船渠 2号ドック)

J. 臨港パーク(ちょい足し)

- 正面にベイブリッジ、背面にみなとみらいのビル群を見る芝生広場。少し寄り道して、しばしの休憩でもいかがでしょうか
- 59.平山郁夫作「星座'94横浜」
国際会議場内の巨大なステンドグラス。通りすぎる時にのぞき込んで下さい。
開場していれば、間近に見られる可能性も
 - 60.チェ・ジョンファ「フルーツ・ツリー」
横浜トリエンナーレ 2001 出展作品が寄贈され、常飾されています
 - 61.記念碑群
リマちゃん、虹空間 '95 が設置されています
 - 62.汐入の池
 - 63.錨のモニュメント
 - 64.ぶかりさん橋
 - 65.大岡川河口
古大岡湾の埋立が進んで、中世の頃に比べて、大岡川は 4km ほど伸びました

